

福岡学園は「口腔医学」を推進しています。

〈福岡学園広報誌〉

New Sophia

ニューソフィア

127号

[VOL.33-③]

July 2025



| 特集 | 第2回 2025年7月完成予定 新本館
水田祥代氏を理事長に再任、学園の理事・評議員を改選

「教育」「研究」「臨床」口腔医学の未来を創る 学生ファーストのキャンパス

新本館
2025年7月
完成予定



語らいテラス

外の空気が吸える環境でON/OFFを切り替えて学修の集中力をUP!
木目調のベンチや植物に囲まれ、温かみがある学生の居心地が良い空間



実習室

学生同士が相互に刺激を与え合える実習室



講義室

横長にすることで教員と学生の距離を縮め、
ゆったりとした座席配置で勉強に集中できる
環境を実現



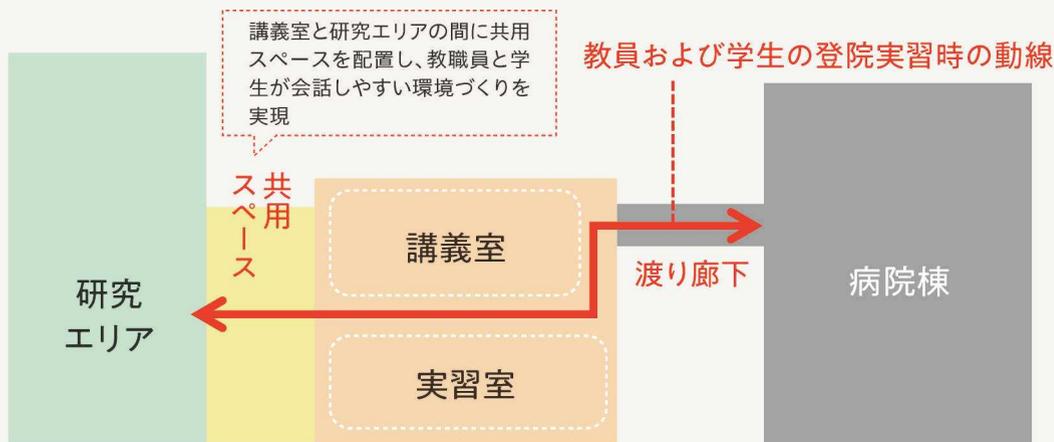
ロッカー コーナー

ロッカースペースを講義室と実習室の間に
分散して学生の動線を短縮し、オープンで
明るい学生交流の語らいの空間



エントランス ホール

教職員と学生が交わる広々としたエントラ
ンスホール



渡り廊下を抜けるとす
ぐに医科歯科総合病院
へ。臨床の現場を学生
が身近に感じることが
できるキャンパス環境

目次 Contents

Seasonal News 季節のニュース

- 3・4 ◆ 令和6年度事業報告および決算について
- 5 ◆ 水田祥代氏を理事長に再任、学園の理事・評議員を改選

Campus TOPIX 注目のトピックス

- 6・7 ◆ 国際交流レポート

Campus News 学園の話題

- 8 ◆ 福岡歯科大学と福岡医療短期大学が九州産業高等学校で健診センター事業として学校歯科健診を実施
 - ◆ 福岡看護大学の学生が「看護フェスタ福岡2025」にボランティアスタッフとして参加
- 9 ◆ 福岡講倫館高等学校と福岡学園の高大連携プログラムを開催
- 10 ◆ 福岡看護大学子育て応援事業「りんくる」スタート
 - ◆ 「歯と口の健康のつどい」で無料口腔がん検診を実施
- 11 ◆ 福岡歯科大学同窓生のご子息・ご息女対象オープンキャンパスを開催
 - ◆ 福岡歯科大学学生研究支援プログラムリサーチ・スチューデントが決定
- 12 ◆ 福岡歯科大学と福岡医療短期大学が九州デンタルショー2025に出展
 - ◆ 令和7年度福岡看護大学・福岡医療短期大学高校教員対象合同入試説明会を開催
 - ◆ 福岡歯科大学個別面談会 開催案内

People 学園の「ひと」

- 13 ◆ 長尾 博通氏が令和7年春の叙勲受章
 - ◆ 柳迫 正俊氏が令和7年春の叙勲受章
 - ◆ 教員紹介
 - ◆ 藤英俊福岡歯科大学名誉教授ご逝去
 - ◆ 岡村和彦元福岡歯科大学准教授ご逝去

Events Report 学園行事レポート

- 14 ◆ 福岡看護大学空手部主将が福岡県大会で準優勝
 - ◆ 第18回 健康まるごと福岡学園 開催案内

From Alumni 同窓会だより

- 15 ◆ 学術報告 (田代 剛氏・26期生)
 - ◆ 同窓生からの手紙 (原田 裕教氏・12期生)
- 16 ◆ Hi! From Clinic (土屋 嘉都彦氏・24期生)
 - ◆ 卒業生NOW (平川 俊洋氏・14期生)

Affluent Voices みんなの声

- 17 ◆ 看護大学だより
 - ◆ 学生からのメッセージ (都築 均・福岡歯科大学第5学年)
- 18 ◆ 短大Voices
 - ◆ コラム
 - ◆ 編集後記

Information

- 裏表紙 ◆ 入試日程 (福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学)

令和6年度事業報告および決算について

学校法人福岡学園の事業報告および決算が、5月27日開催の理事会で承認され、6月24日開催の評議員会で意見聴取を行いました。概要は次のとおりです。

1.教育の質の向上

- (1) 歯科大学は、自己点検サイクルの充実・強化及び口腔医学教育の実践を検証するため、学修成果の評価の方針(アセスメント・ポリシー)に基づいたアセスメントプランを完成させたほか、令和7年度からそのプランを基に各種委員会での自己点検した取り組み状況を自己点検・評価委員会が点検・評価し、助言等を行うPDCAサイクルを確立させることにより口腔医学教育を一層充実することとしました。歯学研究科では、コースワーク・リサーチワークの円滑な実施体制の検証を今年度も継続してシラバス上で確認しました。第118回歯科医師国家試験は、新卒53名、既卒43名、合計96名が合格し、新卒での50名以上の合格は10年ぶり、既卒を含めた90名以上の合格は12年ぶりの好結果となりました。
- (2) 看護大学は、電子教科書導入によるペーパーレス化を目指して取り組んだほか、CBT・OSCEの導入に向けて、第3学年で実習・国家試験スタートアップ(JKS)を実施しました。また、口腔ケア看護教育モデルの充実に向けて、口腔ケア教育に関連する科目と統合した教育モデルを可視化する取り組みを行いました。看護学研究科では、歯科

衛生士入学者を受け入れるために見直した教育3ポリシーに沿って教育をしたほか、「口腔病態生理特論」、「看護・口腔医療連携特論」については、学修成果の評価の方針(アセスメント・ポリシー)に沿って教育の評価を行いました。第114回看護師国家試験は、92名が受験し90名が合格、第111回保健師国家試験は8名が受験し7名が合格しました。

- (3) 短期大学は、学修成果の評価の方針(アセスメント・ポリシー)に基づき実施したアンケートの調査結果等を勘案し、次年度の実習科目の実施方法の一部を変更したほか、自己点検・評価委員会の下に設置した検討部会で作成したカリキュラムマップについて、課程表改正も含めて再度検討を行いました。また、乳幼児・青年期・高齢期の各世代を対象に、専攻科生が3つのグループに分かれて各世代に即した口腔機能の発達や維持・向上に寄与するセミナーを実施しました。第34回歯科衛生士国家試験は、新卒62名が受験し、53名が合格しました。

2.研究の質の向上

- (1) 口腔医学研究センターは、5つの口腔医学プラットフォーム(PF)を構築し、学園3大学から31名の研究者を選抜して適切なPFに再配置するとともに、第6回口腔医学研究センターシンポジウムを開催し、各PFから選ばれた代表者5名が研究成果の発表を行いました。
- (2) 看護大学は、第44回日本看護科学学会シンポジウムにおいて、熊本大学、宮城大学と共同で歯科・看護の多職種連携教育に関して発表を行うとともに、論文を投稿し、BMC Medical Educationに掲載されました。また、科研費では、令和6年度の助成金保有率が63.3%となり、口腔関連の研究テーマでブランド力を高めました。

- (3) 短期大学は、科研費による研究の一環として、口腔保健指導プログラムの開発について看護大学とカリキュラムの統合の可能性を議論し、一部の実習で合同授業を実施しました。また、歯科衛生士研修支援センターにおける研修会時の調査から得られた結果について学会発表を行い、論文化を進めました。
- (4) 専任教員の総論文数(著書、総説、原著論文、症例報告等)は、歯科大学は103編(うち欧文63編)、看護大学は39編(うち欧文12編)、短期大学は36編(うち欧文10編)でした。

3.学生の受け入れ・支援

- (1) 学園3大学は、大学教育・高等学校教育の活性化等を目的として、福岡県立福岡講館高等学校と「高大連携に関する協定」を締結したほか、看護大学は福岡県立福岡中央高等学校との連携協定を締結しました。
- (2) 歯科大学は、特待生の入学後の修学状況を検証した結果、専願S特待生で入学した学生が入学後も周囲の学生に対し学習意欲の面で好影響を与えているため、令和7年度も同様の特待生制度の継続を図りました。また、学生及び大学院生向けのオリエンテーションに保健管理センターの公認心理師が参加し、合理的配慮や保健管理センターの紹介をするなど、学生が相談しやすい環境を整備しました。
- (3) 看護大学は、高大連携事業の拡大、企画・運営に学生を参加させたオープンキャンパスの開催、進学説明会への参加、依頼のあった高校及び業者主催の出張講義・進学ガイダンスへの参加並びに教職員に

よる高校訪問(九州・山口・沖縄)を実施したほか、意欲のある学生確保に向け、入学者選抜方法の検証や妥当性、学修環境などについての分析を行い、特待生制度、奨学金制度を変更することとしました。

- (4) 短期大学は、新入生やオープンキャンパス参加者のアンケート結果に基づき、ホームページの新着情報に受験生目録の内容をできるだけ多く掲載したほか、社会人選抜および社会人選抜受験者対象の修学支援制度を新設、オープンキャンパス日程の追加等定員確保のための方策を実施した結果、定員を充足しました。また、成績不振者への補習や保護者面談もその都度行い、昨年度に比して1年次の退学者が減少しました。
- (5) 令和7年度入学者数は、歯科大学口腔歯学部82名・同大学院14名、看護大学看護学科121名、同大学院7名、短期大学歯科衛生学科98名・同大専攻科20名でした。

4.社会との連携・貢献

- (1) 地域連携センターは、出前講座および看護大生の地域行事、歯科大生の地域小学生への学習支援等ボランティア活動等、従来対面で行ってきた活動の一部を再開しました。また、田隈中学校の2年生を対象に将来の進路について考える「夢授業」が行われ、本学園より歯科医師、看護師、歯科衛生士を講師として派遣し、「仕事内容」や「仕事のやりがい」、「中学生へ向けてのメッセージ」等各職種の魅力を伝えました。
- (2) 短期大学は、地域高齢者の「おしゃべりっく会」に月1回担当教員が講師として参加し、地域高齢者の健康維持に寄与したほか、「かふえもりのいえ」の運営に協力し、学生がボランティアとして参加する等社会貢献活動に努めました。
- (3) 医科歯科総合病院は、「福岡歯科大学医科歯科総合病院連携の会」

を開催し、前年を上回る104名の参加があり、今後の地域医療について意見交換を行い、連携を深めました。また、健診センターでは、地域企業、市民への定着化と受診者の定期受診に繋がるよう、企業担当者と綿密な連携調整による円滑な受入れや満足される対応を実践した結果、一般の健診受診者が増加しました。1日平均の外來患者数は794.7人、入院患者数は27.3人でした。

- (4) 介護老人保健施設は、7月にコンサルタント会社と経営コンサルティング契約を締結し、9月以降は施設類型を加算型に1ランク落として入所者増を目指すことで収支改善に努めました。また、令和6年度の介護報酬改定に伴い、村上華林堂病院と協力医療機関協定を締結し、協力医療機関連携加算を取得しました。1日平均の入所者数は50.7人、通所利用者数は20.8人でした。

5.組織運営及び財務・施設整備

- (1) 学校法人のガバナンス強化のため、改正私立学校法に基づき、本学の寄附行為の変更認可申請を行い文科省より認可を受けたほか、内部統制システム整備の基本方針の策定、私立大学ガバナンス・コード第2.0版の次年度からの遵守状況の点検と運用開始等を決定しました。
- (2) 新キャンパス整備計画1期工事(新本館)は、プロット、家具の選定打合せと並行し、土壌汚染対策に関する各種申請・届出手続きを遅滞なく実施するとともに、外構、外装、内装工事を計画どおり順調に進め、年度末の出来高はおおよそ68%となりました。

- (3) 短期大学は、厚労省の補助事業「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」に今年度も採択され、昨年度設置した「歯科衛生士研修支援センター」による研修を計8回実施し、延べ人数207名(新人72名、スキルアップ55名、復職80名)の参加がありました。
- (4) 医科歯科総合病院は、役割と責任を明確化するため薬局を診療支援部門から独立させ病院長直下に置き、組織名を薬剤部に変更、看護師主任の役職名を副看護師長に改称したほか、今後の特定共同指導、適時調査の受審に向け、適切な診療録の記載を徹底することを任務とする診療録記載管理委員会を設置しました。

令和6年度(第53期)決算の概要

令和6年度(第53期)の資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表および財産目録の概要は次のとおりです。

○資金収支計算書

■資金収支計算書総括表 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで) (単位:千円)

科目	6年度決算		予算との差異 (①-②)	5年度決算		前年度決算との 差異(②-③)
	①	②		③	④	
【収入の部】						
1 学生生徒等納付金収入	3,121,358	3,209,414	△88,056	3,143,983	65,431	
2 手数料収入	25,548	27,226	△1,678	27,995	△769	
3 寄付金収入	92,000	129,857	△37,857	85,908	43,949	
4 補助金収入	460,800	555,309	△94,509	516,526	38,783	
5 資産売却収入	105,586	128,649	△23,063	5,329,506	△5,200,857	
6 付随事業・収益事業収入	365,300	413,294	△47,994	371,625	41,669	
7 医療収入	2,380,000	2,491,828	△111,828	2,336,650	155,178	
8 受取利息・配当金収入	420,920	433,029	△12,109	512,638	△79,609	
9 雑収入	251,230	314,969	△63,739	167,385	147,584	
10 借入金等収入	6,000,000	6,000,000	0	1,500,000	4,500,000	
11 前受金収入	383,525	503,546	△140,021	554,884	△51,338	
12 その他の収入	1,678,814	1,673,695	5,119	10,492,861	△8,819,166	
13 資金収支調整勘定	△812,225	△1,121,437	309,212	△913,696	△101,471	
① 当年度収入合計	(14,452,856)	(14,759,379)	(△306,523)	(24,126,265)	(△9,366,886)	
② 前年度繰越支払資金	1,223,364	1,752,238		1,203,838		
収入の部合計	15,676,220	16,511,617	△835,397	25,330,103	△8,818,486	
【支出の部】						
1 人件費支出	4,475,288	4,604,523	△129,235	4,438,164	166,359	
2 教育研究経費支出	2,192,111	2,236,364	△44,253	2,209,237	27,127	
3 管理経費支出	502,146	468,146	34,000	440,579	27,567	
4 借入金等利息支出	21,728	25,648	△3,920	19,779	5,869	
5 借入金等返済支出	1,095,024	1,142,526	△47,502	897,522	245,004	
6 施設関係支出	6,009,570	6,011,029	△1,459	1,512,680	4,498,349	
7 設備関係支出	106,979	124,726	△17,747	122,205	2,521	
8 資産運用支出	205,586	223,063	△17,477	13,996,357	△13,773,294	
9 その他の支出	453,030	483,030	△30,000	374,773	108,260	
10 [予備費]	(0)					
① 当年度支出合計	(15,005,087)	(14,863,920)	(141,167)	(23,577,865)	(△6,813,907)	
② 翌年度繰越支払資金	671,133	1,647,697	△976,564	1,752,238	△104,541	
支出の部合計	15,676,220	16,511,617	△835,397	25,330,103	△8,818,486	

■主な内容は次のとおりです。

収入の部	決算額	内容
1 学生生徒等納付金収入	32億9000万円	歯科大学は23億4,600万円、看護大学は6億7,900万円、短期大学は1億8,400万円となり、歯科大学及び看護大学の在籍学生数の増により、前年度比6,500万円増の32億9000万円となりました。
7 医療収入	24億9,200万円	歯科収入は前年度比1億3,000万円増の14億7,200万円、医科収入は前年度比2,500万円増の10億2,000万円となり、前年度比1億5,500万円増の24億9,200万円となりました。
10 借入金等収入	60億円	本館建設工事の支分に充当するため、私学事業から60億円を借入れました。
支出の部	決算額	内容
1 人件費支出	46億5000万円	昇給等に伴う病院医療職人員人件費3,500万円増、人員増に伴う医員臨床研修指導医人件費4,600万円増、長期勤続者の依職退職などに伴う退職金7,500万円増により、前年度比1億6,600万円増の46億5000万円となりました。
6 施設関係支出	60億1,100万円	本館建設工事の中間払金60億円など、前年度比44億9,900万円増の60億1,100万円となりました。

○財産目録

■財産目録総括表 (令和7年3月31日) (注記) 資産の評価基準は取得価額基準による。 (単位:円)

科目	金額	科目	金額
資産の部			
1 基本財産	27,853,767,181	1 固定負債	12,632,608,744
(1) 土地	2,893,495,049	(1) 長期借入金	11,064,864,000
(2) 建物	13,490,122,947	(2) 退職給付引当金	1,567,244,744
(3) 構築物	753,390,255	(3) 長期預り金	500,000
(4) 教育研究用機器備品	1,505,424,764	2 流動負債	2,186,593,478
(5) 管理用機器備品	82,144,043	(1) 短期借入金	1,095,024,000
(6) 図書	1,573,842,891	(2) 未払金	500,690,909
(7) 車両	2	(3) 前受金	423,316,000
(8) 建設仮勘定	7,502,661,200	(4) 預り金	167,562,569
(9) 電話加入権	1,705,991	負債合計	14,819,202,222
(10) 教育研究用ソフトウェア	42,482,098	正味財産	55,526,146,293
(11) 管理用ソフトウェア	8,497,941		
2 運用財産	42,491,581,334		
(1) 建物	22,816,682		
(2) 現金預金	1,647,697,238		
(3) 特定資産	31,802,864,500		
(4) 有価証券	8,300,063,900		
(5) 長期貸付金	15,000,000		
(6) 長期前払金	21,123,066		
(7) 未収入金	599,642,651		
(8) 貯蔵品	25,860,840		
(9) 前払金	56,236,049		
(10) 立替金	276,408		
資産合計	70,345,348,515		

○事業活動収支計算書

■事業活動収支計算書総括表 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで) (単位:千円)

科目	6年度決算		予算との差異 (①-②)	5年度決算		前年度決算との 差異(②-③)
	①	②		③	④	
【収入の部】						
1 学生生徒等納付金	3,121,358	3,209,414	△88,056	3,143,983	65,431	
2 手数料	25,548	27,226	△1,678	27,995	△769	
3 寄付金	92,000	145,917	△53,917	100,930	44,987	
4 経常費等補助金	460,800	555,309	△94,509	516,526	38,783	
5 付随事業収入	365,300	413,294	△47,994	371,625	41,669	
6 医療収入	2,380,000	2,491,828	△111,828	2,336,650	155,178	
7 雑収入	251,230	314,969	△63,739	167,385	147,584	
[A] 教育活動収入計	6,696,236	7,171,846	△475,610	6,659,204	512,642	
1 人件費	4,521,017	4,649,105	△128,088	4,478,667	170,438	
2 教育研究経費	3,170,069	3,237,652	△67,583	3,245,351	△74,699	
3 管理経費	611,037	576,442	34,595	549,311	27,131	
4 徴収不能額等	0	3,657	△3,657	2,177	1,480	
[B] 教育活動支出計	8,302,123	8,466,856	△164,733	8,275,506	191,350	
[C] 教育活動収支差額	△1,605,887	△1,295,010	△310,877	△1,616,302	321,292	
1 受取利息・配当金	420,920	433,029	△12,109	512,638	△79,609	
2 その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	
[D] 教育活動外収入計	420,920	433,029	△12,109	512,638	△79,609	
1 借入金等利息	21,728	25,648	△3,920	19,779	5,869	
2 その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	
[E] 教育活動外支出計	21,728	25,648	△3,920	19,779	5,869	
[F] 教育活動外収支差額	399,192	407,381	△8,189	492,859	△85,478	
[G] 経常収支差額	△1,206,695	△887,629	△319,066	△1,123,443	235,814	
収入の特別収支	0	0	0	367,243	△367,243	
1 資産売却差額	0	0	0	29,100	△14,079	
[H] 特別収入計	10,000	15,021	△5,021	396,343	△381,322	
支出の特別収支	0	0	0	256,185	△196,800	
1 資産処分差額	0	59,385	△59,385	330	762	
[I] 特別支出計	0	60,477	△60,477	256,515	△196,038	
[J] 特別収支差額	10,000	△45,456	55,456	139,828	△185,284	
[K] [予備費]	(0)					
[L] 基本金相入前当年度収支差額	△1,496,695	△933,085	△563,610	△983,615	50,530	
[M] 基本金相入額合計	△1,118,903	△1,171,649	52,746	△843,820	△327,829	
[N] 当年度収支差額	△2,615,598	△2,104,734	△510,864	△1,827,435	△277,299	
[O] 前年度繰越収支差額	3,159,316	3,132,223	27,093	△3,249,460	6,381,683	
[P] 基本金取崩額	0	1,394	△1,394	8,209,118	△8,207,724	
[Q] 翌年度繰越収支差額	543,718	1,028,883	△485,165	3,132,223	△2,103,340	
(参考)						
事業活動収入計	7,127,156	7,619,896	△492,740	7,569,185	51,711	
事業活動支出計	8,623,851	8,552,961	70,870	8,551,800	1,181	

■活動区分ごとの収支は次のとおりです。

【教育活動収支】 経常的な収支のうち、学校法人の本業である教育研究事業の収支状況を表す。 収入は71億7,200万円、支出は84億6,700万円となり、収支差額は12億9,500万円の支出超過となりました。
【教育活動外収支】 経常的な収支のうち、財務活動と収益事業による収支状況を表す。 収入は4億3,300万円、支出は2,600万円となり、収支差額は4億700万円の収入超過となりました。
【経常収支差額】 経常的な事業活動による収支バランスを表す。 教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合計した経常収支差額は8億8,800万円の支出超過となりました。
【特別収支】 一時的に発生した臨時的な事業活動による収支状況を表す。 収入は1,500万円、支出は6,000万円となり、収支差額は4,500万円の支出超過となりました。

○貸借対照表

■貸借対照表総括表 (令和7年3月31日) (単位:千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	68,015,635	64,103,092	3,912,543
有形固定資産	27,823,898	22,755,940	5,067,958
特定資産	31,802,864	32,874,215	△1,071,351
その他の固定資産	8,388,873	8,472,937	△84,064
流動資産	2,329,713	2,298,601	31,112
資産の部合計[A]	70,345,348	66,401,693	3,943,655
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	12,632,609	7,694,790	4,937,819
流動負債	2,186,593	2,247,672	△61,079
負債の部合計[B]	14,819,202	9,942,462	4,876,740
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	54,497,263	53,327,008	1,170,255
第1号基本金	30,173,485	29,026,293	1,147,192
第3号基本金	23,704,778	23,681,715	23,063
第4号基本金	619,000	619,000	0
繰越収支差額	1,028,883	3,132,223	△2,103,340
純資産の部合計[C]	55,526,146	56,459,231	△933,085
負債及び純資産の部合計	70,345,348	66,401,693	3,943,655

■前年度末との主な増減は次のとおりです。

【資産の部】
・有形固定資産は本館建設工事に係る中間払金などにより、50億6,800万円の増となりました。
【負債の部】
・固定負債は本館建設工事に係る借入金などにより、49億3,800万円の増となりました。
【純資産の部】
・第1号基本金は病院・記念講堂・本館建設工事に係る借入金返済分などを入れたことにより、11億4,700万円の増となりました。
・繰越収支差額は基本金に11億7,200万円を入れたことなどにより、21億300万円の減となりました。

水田祥代氏を理事長に再任

学園の理事・評議員を改選

任期満了に伴う本学園の理事・監事・評議員の改選が、5月27日および6月3日に開催された理事会、評議員会で行われ、理事11名、監事2名、評議員12名が決まりました。なお、今期より新たに新評議員として菊池仁志氏、岡留朝子氏、赤木万喜子氏が選任されました。

また、理事長には水田祥代氏が、常務理事には田口智章氏が選任されました。選任された理事、監事、評議員は次のとおりです。



水田 祥代 理事長

新役員紹介



評議員
菊池 仁志
(福岡市医師会 会長)



評議員
岡留 朝子
(福岡県歯科衛生士会 会長)



評議員
赤木 万喜子
(福岡医療短期大学瑞樹会 会長)

理 事

水田 祥代 (福岡学園理事長)
田口 智章 (福岡学園常務理事、福岡医療短期大学長)
高橋 裕 (福岡歯科大学長)
樗木 晶子 (福岡看護大学長)
鳥巢 浩幸 (福岡歯科大学医科歯科総合病院長)
石橋 慶憲 (福岡学園事務局長)

宮口 巖 (長崎県歯科医師会顧問)
古谷野 潔 (福岡医健・スポーツ専門学校長)
瓦林達比古 (福岡県社会保険医療協会理事長)
海老井悦子 (福岡県女性財団顧問)
江里 能成 (福岡県歯科医師会会長)

監 事

工藤 重之 (工藤公認会計士事務所所長)

西方 和久 (税理士法人西方会計代表社員)

評議員

松添 裕晃 (福岡学園財務課長)
稲井哲一朗 (福岡歯科大学 学生部長)
宮園 真美 (福岡看護大学 学部長)
古野みはる (福岡医療短期大学 学科長)
吉永 修 (福岡歯科大学同窓会 会長)
中 四良 (福岡歯科大学同窓会 副会長)

赤木万喜子 (福岡医療短期大学瑞樹会 会長)
吉住 朋晴 (九州大学大学院消化器・総合外科 教授)
朔 啓二郎 (那珂川病院 理事長)
岡留 朝子 (福岡県歯科衛生士会 会長)
菊池 仁志 (福岡市医師会 会長)
神田 晋爾 (神田歯科医院 院長)

国際交流レポート

福岡歯科大学では、5年ぶりに国際交流を再開し協定校である4校へ21名の学生を派遣しました。

[海外研修派遣先大学]

派遣先大学	派遣期間	派遣学生	引率教員
リバプール大学	令和7年5月17日(土) ～5月24日(土)	6名	岡 暁子 (成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野 教授)
ブリティッシュコロンビア大学	令和7年5月19日(月) ～5月25日(日)	6名	松崎英津子 (口腔治療学講座 歯科保存学分野 教授)
上海交通大学口腔医学院	令和7年5月25日(日) ～5月31日(土)	6名	都築 尊 (咬合修復学講座 有床義歯学分野 教授)
慶熙大学校歯科大学	令和7年7月20日(日) ～7月26日(土)	3名	香川 豊宏 (診断・全身管理学講座 口腔画像診断学分野 教授)

※慶熙大学のレポートは次号(10月号)で紹介いたします。

海外研修派遣

壮行会

5月13日、海外研修派遣の壮行会が開催されました。各派遣先の学生代表4名は研修で学びたいことや目標など抱負を述べ、水田理事長、田口常務理事、高橋歯科大学長、稲井学生部長は学生たちへエールを送りました。



リバプール大学

国境を越えて見えた 歯科医療の共通点と違い

森山華蓮(第6学年)

リバプール大学での海外研修は、非常に貴重で学びの多い経験となりました。大学病院での治療見学を通して実際の臨床現場を間近で体感することができ、特に印象的だったのはイギリスでは1年生から臨床に参加し、患者と接する機会があるという点です。早期から現場で学ぶことが歯科医師としての責任感や実践力を育てていると実感しました。また H a p p i c s という触覚シミュレーターを用いた治療体験では、非常にリアルな操作感があり技術習得に大いに役立つと感じました。更に現地の先生方との交流を通して、イギリスの歯科医療制度や教育方針について直接話を聞くことができ、非常に刺激的でした。こうした経験を通して言語や制度の違いはあっても「人々の健康を守る」という目標は共通していると強く感じました。この研修は自分の視野を大きく広げてくれただけでなく、将来は長期での留学にも挑戦し、国際的な歯科医師として成長したいという目標をより一層明確にしてくれました。



Campus TOPIX

国際交流レポート

ブリティッシュコロロンビア大学 UBCで見つけた 歯科医師への新たな一歩

松島京香(第6学年)

カナダ・ブリティッシュコロロンビア大学(UBC)での海外研修に参加しました。講義や臨床見学を通じ、日本との診療や教育スタイルの違いを肌で感じました。特に、診療前の説明に要する時間配分やディスカッション形式の講義進行には、UBCならではの丁寧さと学生の主体性が明確に表れていました。本学6年間の学びについて、私たちが英語で作成したスライドをもとに発表したランチミーティングでは、先生方や学生の皆さんが気さくに話しかけてくださり、互いの大学文化を共有することができました。さらにスケジュール外の実習への参加も快く認めていただき、多くの学びと新たな出会いに恵まれました。今回の経験は、異なる文化に触れることで視野を広げ、日本での学びを見直す貴重な機会となりました。今後はこの経験を糧に、国際的な感覚を持った歯科医療従事者を目指してまいります。



上海交通大学口腔医学院 繋がる心、広がる世界 — 上海で得た学びと想い

澤山優太(第6学年)

今回の上海交通大学での海外研修を通じて、中国のトップレベルの大学で学ぶ学生たちの勤勉さや、大学に対する誇りを肌で感じる事ができました。彼らからの温かなおもてなしに感動すると同時に、学問に向き合う姿勢にも刺激を受けました。また、研修中に改めて気づいたのは、今自分がしている勉強は歯科医師になるためだけの手段ではなく、人生を豊かにするためのツールだということです。コロナ禍で長く海外研修が中断していた中、現地での交流は人との繋がりの大切さを実感させてくれました。この経験を今後の学びや将来の診療に活かしていきたいと思えます。



海外研修派遣報告会

6月10日、海外研修派遣の報告会が開催され、研修修了した派遣学生18名と引率教員3名が報告を行いました。

各派遣先の学生代表は、派遣先での学びや課題、今後の展望について報告を行い、目指す理想の歯科医師像に向けてこれからの学生生活への決意を新たにしました。水田理事長、田口常務理事、高橋歯科大学長、稲井学生部長は、更なる活躍を期待し今後もサポートしていくと学生たちに伝えました。



福岡歯科大学と福岡医療短期大学が九州産業高等学校で健診センター事業として学校歯科健診を実施

5月1日と2日、九州産業大学付属九州産業高等学校における学校歯科健診で、福岡歯科大学の歯科医師延べ14名が口腔内診査を行い、福岡医療短期大学の専攻科生延べ24名が記録係として参加しました。

専攻科生においては、歯科臨床実地の一環として実施され、高校生の口腔内の問題点を学び、健診業務を体験することを目的としており学校保健の現場で歯科医療を実践的に学ぶ貴重な機会となりました。



福岡看護大学の学生が「看護フェスタ福岡2025」にボランティアスタッフとして参加

5月17日、福岡市内で開催された「看護フェスタ福岡2025」に福岡看護大学の学生2名がボランティアスタッフとして参加しました。

看護フェスタ福岡は、福岡県看護協会が毎年主催する看護の魅力を広く発信するイベントです。

今年は「看護の現場を聞こう！」をテーマとしており、講演会のほか、白衣体験、BLS（二次救命処置）・ADL（日常生活動作）体験、看護の進路・進学相談など、さまざまなプログラムが実施されました。ボランティアに参加した学生は会場誘導など、来場者の案内を担当しました。



Campus News

福岡講倫館高等学校と 福岡学園の高大連携プログラムを開催

福岡講倫館高等学校と福岡学園との高大連携プログラムとして、5月15日、22日に3年生を対象としたインターンシップ、23日に1年生を対象としたアカデミックツアーが開催されました。

インターンシップでは、3年生延べ50名が2班に分かれて医科歯科総合病院にて体験学習を行いました。一つの班は、介護現場で働く歯科衛生士についての講義を受け、矯正歯科・口腔外科・小児歯科を見学したのち、歯科衛生士体験を行いました。もう一つの班は、口腔がん患者の治療における多職種連携医療の講義を受け、看護師・理学療法士・歯科技工士・診療放射線技師の現場を見学しました。

参加した3年生たちは、「様々な経験ができたので看護師という夢に活かしていきたいです」「チーム医療という言葉の重みを理解することができました」と医療職への学びを深めました。

アカデミックツアーに参加した1年生72名は3班に分かれて福岡歯科大学、福岡看護大学、福岡医療短期大学を順番に見学し、各大学の特色を活かしたプログラムを体験しました。

参加した1年生たちは「今日初めて知ったことが沢山あって、このアカデミックツアーに参加できてとても良かった」「歯科衛生士の魅力を知り、やりがいのある仕事だと思った」と医療職への興味関心を広めた様子でした。

インターンシップ



歯科衛生士



放射線技師



全体説明



理学療法士



看護師



歯科技工士

アカデミックツアー



福岡歯科大学



福岡看護大学



福岡医療短期大学

福岡看護大学 子育て応援事業「りんくる」スタート！

福岡看護大学の子育て応援事業「りんくる」は、2025年4月にスタートし、0～15歳の子どもと子育てに関わる大人を対象とする相談支援です。看護教員による育児相談会では、健康に関することや日常の困りごとを気軽に相談でき、その間子どもたちには遊びながら過ごせる場を提供しています。さらに、親子の絆を深めるCAREプログラムを導入しました。「子どもともっと良い関係を築きたい」方に最適な内容です。

相談会は毎月、福岡看護大学ラウンジで実施しています。今後は、田村公民館での「かふえもりのいえ」にこころランドたむらへの出張相談も予定されており、大学と地域が連携した「子育ての安心・安全基地」の拠点づくりを進めています。

2025年5月25日の相談会では、4組の親子に来場いただきました。子どもと一緒に遊びながら、普段の様子や子育ての想いを話し合い、にぎやかで温かい時間を過ごしました。

日々の育児で不安を感じる親御さんに、「ちょっと立ち寄れる」居場所を広く展開していく、この新しい取り組みにご注目ください。



子育て相談
りんくる
スタートしました！

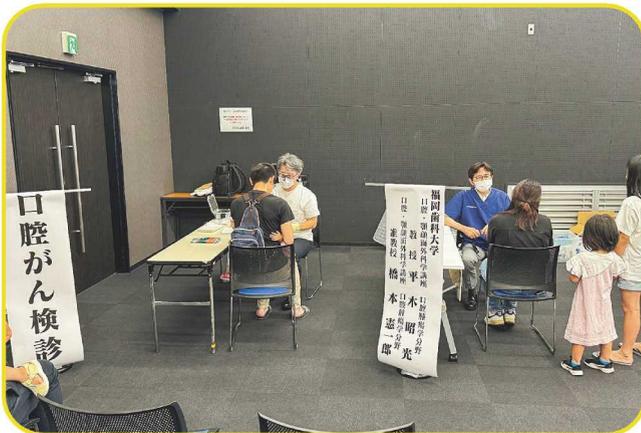
相談料：無料 毎月1回（月末の土曜日 or 日曜日）
時間：13:00～16:00
予約制：予約の方を優先します。予約なしでもご参加いただけます。
対象者：乳児から思春期（中学生）までの保護者
場所：福岡看護大学1F ラウンジ（福岡市早良区御村2-15-1）

「りんくる」とは福岡看護大学の看護教員による子育て応援団です。
皆様の子育てを応援します。
福岡看護大学

キャンパスニュース

「歯と口の健康のつどい」で 無料口腔がん検診を実施

6月7日、「歯と口の健康週間」の啓発イベントの一環としてお口と全身の健康に関する催し「歯と口の健康のつどい」が伊都文化会館（糸島市）で開催されました。福岡歯科大学からは、平木 昭光教授と橋本 憲一郎准教授（ともに口腔・顎顔面外科学講座 口腔腫瘍学分野）が参加し、累計で81名の方々の口腔がん検診を実施しました。



Campus News

福岡歯科大学同窓生のご子息・ご息女対象 オープンキャンパスを開催

5月25日、福岡歯科大学同窓生のご子息・ご息女を対象としたオープンキャンパスを開催しました。県内外の高校生や保護者など38人が参加し、病院やロボット実習室などの施設見学、コンピューターを使った実習、大学の概況や令和8年度入学者選抜についての説明を行いました。参加者からは「教員の先生方、関係各位の熱意のある指導の姿勢ありがとうございます」、「お世話をして下さった学生さんの対応が素晴らしく同窓生として誇らしく感じました。ありがとうございました」、「皆様笑顔でもとても感じが良かったです。学生さんに女性が多いのが驚きました！」といった声をいただきました。



開会

実習
「頭蓋骨3Dモデルで顔の骨格を知ろう」

進学相談



施設見学

福岡歯科大学 学生研究支援プログラム リサーチ・スチューデントが決定

令和7年度の福岡歯科大学学生研究支援プログラムにおけるリサーチ・スチューデントが決定しました。この制度は、普段の講義・実習の先にある「研究」に強い関心を持っている学生を支援するもので、リサーチ・スチューデントが行う研究活動には、研究指導を行う分野に対して1件あたり20万円を上限として支援金が交付され、充実した研究活動を行うことができます。今年度は、6名の口腔歯学部生がリサーチ・スチューデントに採用されました。学生たちは自ら設定した研究課題に主体的に取り組み、物事の本質を見極める能力を磨いていきます。



研究課題

- 第5学年 川村 衣織
「抗がん剤によるがん幹細胞化とその治療戦略に関する研究」
- 第5学年 得居 果乃
「DNA損傷が引き起こすアポトーシス誘導機構の研究」
- 第4学年 石川 慎之助
「歯周病の健康格差と環境要因に関する探索的研究」
- 第3学年 浦崎 奈緒
「口腔感染症における生体防御機構の解析」
- 第2学年 池内 美優
「CD44バリエーション型発現とその生物学的機能に関する研究」
- 第2学年 新開 穂波
「全ゲノム倍化を経由する不均一な異数性獲得の分子機構に関する研究」

福岡歯科大学と福岡医療短期大学が九州デンタルショー2025に出展

5月31日、6月1日にマリンメッセ福岡において九州デンタルショーが開催され、福岡歯科大学と福岡医療短期大学がブースを出展し、学生募集の案内を行いました。会場には福岡を中心に九州各県から医療関係者や歯学に関わる大学関係者が来場し、両大学のブースには同窓生など多くの方が訪れました。



九州デンタルショー2025



福岡歯科大学ブース



福岡医療短期大学ブース

令和7年度福岡看護大学・福岡医療短期大学 高校教員対象合同入試説明会を開催

7月3日、福岡県・佐賀県を中心とした高等学校を対象に、福岡看護大学と福岡医療短期大学の合同による高校教員対象合同入試説明会が開催され、今年度は13校の教員の方々にご参加いただきました。説明会では、各大学の特徴や入試概要の説明のほか、『障害をもつ子どもの就学支援について』と題した合同研修会も行われました。説明会終了後には、学内見学のほか、個別相談に対応しました。



キャンパスニュース

福岡歯科大学 個別面談会開催案内

福岡歯科大学では、在学生の保護者の皆様に本学の教育内容をご理解いただき、保護者の皆様との相互理解を深め、保護者・大学が一体となつて今まで以上に学生をサポートできる環境を構築することを目的に、学年説明会ならびに個別面談会を開催しています。

令和7年度については、新キャンパス移転の関係で、個別面談会のみ開催いたします。学年説明会については、大学ホームページ上に、学年初の教育状況、対策や取り組み内容等についての掲載をもって代えさせていただきます。

- ◆開催日 令和7年8月3日(日)
- ◆場所 50周年記念講堂
- ◆スケジュール

時間	内容	詳細
10:00～12:00	個別面談会 第1ブロック	助言教員との面談
13:00～15:00	個別面談会 第2ブロック	
15:00～17:00	個別面談会 第3ブロック	

お問合せ 福岡歯科大学 学務課 学生係 TEL:092-801-1884(直通)

長尾博通氏が
令和7年春の叙勲受章



長尾 博通氏

令和7年春の叙勲において、福岡歯科大学卒業生（1期生）の長尾博通氏が永年にわたる保健衛生功勞により「旭日小綬章」を受章されました。長尾氏は、平成23年より令和3年まで一般社団法人分県歯科医師会で会長として、令和元年より令和3年まで日本歯科医師会で監事を歴任されました。また社会福祉保健分野での功績を認められ平成26年に大分県功勞者として表彰されています。本学においては昭和56年から平成3年まで福岡歯科大学同窓会監事を務められ、福岡歯科大学の発展にもご尽力いただきました。

柳迫正俊氏が
令和7年春の叙勲受章



柳迫 正俊氏

令和7年春の叙勲において、福岡歯科大学卒業生（1期生）の柳迫正俊氏が永年にわたる学校保健功勞により「瑞宝双光章」を受章されました。柳迫氏は、一般社団法人八女筑後歯科医師会の学校歯科医として学校保健部門の個人で平成30年度福岡県教育文化表彰を受賞され、また八女市上妻小学校で学校歯科医として35年間、児童の歯や口腔を通して健康の保持増進に尽力してきた功績を認められ令和元年に文部科学大臣から「学校保健および学校安全表彰」を授賞されるなど、学校保健および学校安全の普及と向上に尽力し多大な成果を残されています。本学においては平成14年より父兄後援会理事、父兄後援会副会長を務められ、福岡歯科大学の発展にもご尽力いただきました。

新任



岡田 彩子
講師
●医療統計学分野

岡山大学歯学部卒。東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程（う蝕制御学分野）修了。国立保健医療科学院

《福岡歯科大学》

《学生後援会会長決定》
《福岡歯科大学》



古田 洋介氏
催された福岡歯科大学学生後援会理事会・評議員会合同会議に

3月13日に開
催された福岡歯
科大学学生後援
会理事会・評議
員会合同会議に
おいて、同会長の改選が行われ、古田洋介氏が選任されました。

《福岡医療短期大学》



久地浦 香織氏

3月7日に開
催された福岡医
療短期大学学生
後援会理事会に
おいて、同会長
の改選が行われ、久地浦香織氏が選任されました。

口腔保健部協力研究員、鶴見大学歯学部探索歯学講座学部助手、同大学同学部保存修復学講座助教を経て、2025年5月1日、福岡歯科大学口腔保健学講座医療統計学分野講師に就任。博士（歯学）。

《福岡歯科大学》
福岡看護大学
学友会総務委員長決定》



川村 衣織氏

任期満了に伴う福岡歯科大学学友会総務委員長の改選が行われ、第5学年川村衣織さんが4月1日付で令和7年度総務委員長に就任しました。



岩永 朔弥氏

また、令和7年度福岡看護大学学友会総務委員長に第2学年岩永朔弥さんが4月1日付で就任しました。

藤英俊福岡歯科大学
名誉教授、ご逝去



福岡歯科大学の藤英俊名誉教授が2025年3月23日に逝去されました。同氏は昭和53年に同大学口腔解剖学第二教室（現在の生体構造学講座）助教授に着任され、同講座教授、基礎教科主事、基礎歯学部部長、学生部長、および評議員として学園の発展に尽力され2005年6月に同大学名誉教授の称号を授与されました。享年83歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

岡村和彦
元福岡歯科大学准教授
ご逝去



福岡歯科大学の岡村和彦元准教授が2025年4月26日に逝去されました。同氏は平成2年に同大学口腔病理学教室（現在の生体構造学講座）に助手として入室され、平成7年4月に同講座講師、平成11年5月に同講座助教授（現在の准教授）として永きにわたり学園の発展に尽力されました。享年63歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

また、令和7年度福岡看護大学学友会総務委員長に第2学年岩永朔弥さんが4月1日付で就任しました。

充実した日々、
いろいろ!!

EVENT REPORT

学 園 行 事

学園の様々な
出来事を
ピックアップして
ご紹介!

EVENTS RECORD

イベントレコード

2025年5月

- ▶13日 海外研修派遣壮行会
- ▶17日~24日 リバプール大学 研修派遣
- ▶19日~25日 プリティッシュコロンビア大学 研修派遣
- ▶25日 同窓生ご子息・ご息女対象オープンキャンパス
- ▶25日 オープンキャンパス
- ▶25日~31日 上海交通大学口腔医学院 研修派遣

2025年6月

- ▶10日 海外研修派遣報告会
- ▶22日 オープンキャンパス

2025年7月

- ▶3日 福岡看護大学・福岡医療短期大学 合同入試説明会
- ▶12日 オープンキャンパス
- オープンキャンパス

EVENTS CALENDAR

イベントカレンダー

2025年7月

- ▶20日~26日 慶熙大学校歯科大学 研修派遣
- ▶26日 オープンキャンパス
- ▶27日 新本館完成記念式典
- ▶28日 開学記念式典

2025年8月

- ▶3日 個別面談会
- ▶9日 オープンキャンパス
- ▶22日 オープンキャンパス
- ▶30日 オープンキャンパス

2025年9月

- ▶6日 オープンキャンパス

2025年10月

- ▶9日 献体者慰霊祭
- ▶16日 実験動物慰霊祭
- ▶25日 オープンキャンパス
- オープンキャンパス
- ▶25日・26日 健康まるごと福岡学園

福岡歯科大学 福岡看護大学 福岡医療短期大学



五月人形



歯科医師臨床セミナー



人を対象とする研究の倫理および
研究の実施に関する講習会



ガーデン研修会

NEWS

福岡看護大学空手部主将が 福岡県大会で準優勝

福岡看護大学空手部主将、3年生表谷恭祐さんが「全日本空手道連盟剛柔会 福岡県大会」において、見事準優勝を果たしました。この結果により、表谷さんは以下の大会への出場が決定しました。

- ・6月25日 佐世保市「九州・沖縄地区空手道選手権大会」
- ・7月26日~27日 宮城県仙台市「第51回全日本空手道連盟剛柔会 全国空手道選手権大会」

今後のさらなるご活躍を、心より応援しております。



第18回 健康まるごと福岡学園 開催案内

日程 10月25日(土)・26日(日)

場所 50周年記念講堂、福岡看護大学ほか

福岡学園では、医療・保健・福祉分野における総合的な取り組みを軸に、より広い分野での地域貢献を果たすため、学園祭「健康まるごと福岡学園」を開催します。イベントステージ、模擬店、体験コーナーなど多数の企画を用意して皆様のご来場をお待ちしております。

また、10月25日(土)には福岡歯科大学と福岡医療短期大学のオープンキャンパスが同時開催されますので奮ってご参加ください。

イベント 田の歯科祭 歯科無料相談 からだの科学展 講演会
医科ミニ講座 看護大企画 短大企画
介護施設見学・介護無料相談

お問合せ先 学校法人福岡学園 企画課 TEL:092-801-0420 (直通)



同窓会だより

学術報告

歯科大

歯科臨床スキルアップセミナー2025 「いま必要とされる 歯科臨床の基本と勘所」

田代剛氏(26期生)

最新の歯科治療に対応するため、基本に立ち返り、臨床スキル向上を目指すセミナーを開催します。WEBやSNSでの情報共有が進む現代において、口腔外科処置と補綴印象採得の基本と最新の考え方を学ぶことのできる内容となっております。

第1回・抜歯の基本と観血的処置時の全身管理(中山敬介先生、松村香織先生)・WEB配信(7/7~7/22)終了

第2回・アナログとデジタル印象採得の現状(窪田努先生、荻野真介先生、田代剛先生)・WEB配信(9/1~9/14)

第3回・う蝕、歯周病、欠損補綴の治療戦略(津覇雄三先生、吉永泰周先生、神田亨先生)・対面式(9/27 福岡県歯科医師会館) + オンラインWEB配信(9/13~9/26)

各分野の第一線で活躍する講師陣が、長年の経験から培った「勘所」を惜しみなく伝授。WEB配信と対面式を組み合わせたハイブリッド形式で、多忙な先生方も効率的にスキルアップが図れます。歯科医療の精度向上と臨床力強化のために、ぜひこの機会にご参加ください。



第2回の申し込み



第3回の申し込み



同窓生からの手紙

歯科大

国民皆保険を 守る声を国政へ

原田裕教氏(12期生)

選挙とは一体何なのか、あらためて考えさせられます。私たちは、ネットの情報やマスメディアの論調にただ踊らされてはいいのでしょうか。

私は歯科医師として、職域代表者を国会に送り出す意義に強く賛同します。それは、私たちの医療制度、特に「国民皆保険」を守ることに直結するからです。

すべての歯科医療を自由診療に任せる世の中で、本当に患者さんを守れるのでしょうか？ 鈍刀を磨きながら、地道に信頼を築いてきた私には、そのような選択は到底できません。

だからこそ、現場の声を届けられる職域代表の存在は、私たちにとって「必然」なのです。

投票所の記載台で、無機質なえんぴつが紙の上を滑る音に耳を澄ましながら、未来をそっと思い描く。

その瞬間に、少しのワクワクを感じることが出来るかもしれません。

強く願えば思わぬ形で願いは叶うと信じています。

選挙に行かれましたか？ 今回の選挙はどうなっているのでしょうか？

第61回定時評議会を無事に終えて感じたままに書きました。先輩、こんでよかったですか？





今ある日常を 築いてくれたもの

土屋 嘉都彦氏(24期生)

24期生の土屋嘉都彦と申します。2002年卒業後、米国補綴専門医の資格を取りましたが、日本では得られない多くの学びがあり、現在の診療の礎となっています。英語を通じて海外の最新情報を直接取り入れられることは、大きな財産です。大学の臨床教授を拝命してから約14年、教育の場に関わらせていただけていることにも感謝しています。昨年、父が他界したこともあり、現在は大分市と佐伯市の2院で診療を行っております。どちらも保険外診療を中心に、補綴を軸とした全顎的な視点を大切にしています。今年5月から診療を17時までとし、スタッフは実質週休2・5日。私は週休1日で多忙な日々ではありますが、子どものクラブ活動に関わる時間がささやかな楽しみです。患者さん一人ひとりとじっくり向き合える今の診療環境をとてとても幸せに感じ、いつも支えてくれる家族やスタッフ、そしてご縁に恵まれた多くの方々に、心より感謝申し上げます。



「ご趣味は？」

平川 俊洋氏(14期生)

そんなことを聞かれることはありませんが、10年ほど自転車にハマっていた時期がありました。ダイエツトのためにヤフオクで買ったマウンテンバイクが始まりでした。30年ぶりに自転車に乗ってみるとこれが楽しい！もつと速く、もつと遠くに！マウンテンバイクがロードバイクに変わるまでにそう時間はかかりませんでした。自転車は子供達と一緒に楽しめるのも良かったですね。中学生の子供達と一緒に鹿児島から長島へ。そこから天草を通って熊本まで自転車で行ったこともとても楽しい思い出でした。

しかし、あれだけ楽しかった長距離ツーリングも子供達が家から巣立ってしまうとパタリと行かなくなってしまうました。ロードバイクも部屋の飾りとなり、その後売却となりました。現在は、コロナ禍の時期に免許を取得した大型二輪でツーリングを楽しんでいます。坂道も楽しんでます！これからも安心・安全のツーリングを心がけ、楽しんでいきたいと思っています。



新しい学び・
人・キャンパス、
福岡看護大学の
魅力をご紹介します!



#32

看護大学 だより

地域・在宅看護部門 精神看護学分野 講師

原 やよい

月に一度の
おいしい時間
― 福祉施設によるお菓子の販売

福岡看護大学では、2024年7月より、NPO法人アットホーム福祉会の皆さんによるお菓子の販売が月に一度行われています。焼き菓子やクッキーなどをこめて作られたお菓子が並ぶこの日を、学生たちは毎月楽しみにしています。販売開始前から列ができるほどの人気ぶりです。「今月はどんなお菓子があるのかな」とワクワクする声も聞かれます。中には、毎月決まったお菓子を楽しみに買いに来る学生もいて、お気に入りの一品を見つけている様子です。



今後も、このような地域と学校との温かな交流の場が続いていくことを願っています。

From Student / 学生からのメッセージ

歯学の入り口を振り返って

福岡歯科大学 第5学年 都築均



私は高校卒業後医学部を目指して予備校へ通っていましたが、福岡歯科大O.Bである父の勧めで本学への入学を決めました。

「大学では沢山勉強して沢山友達も作ろう!」と意気込んで入学したはいいものの、本学には自分とはタイプの違う学生が多いように感じ、馴染むのに苦労しました。また、不幸なことに1〜3年生の期間とコロナ禍が重なり、他人との繋がりを部活や学外に求めることも出来ませんでした。私が思い描いていたような学生生活を送ることはとても難しい状況でした。

そんな毎日を送る中、次第に私はこの大学に通う自分のことが嫌いになりました。大学受験で失敗した上に学生生活も上手くいかず自信を失くした私にある日、岡村和彦元准教授は「お前は頭が良いから、絶対に大丈夫だよ」と言って下さいました。久しくそんなことは友達や先生、そして親からも言われていなかったため、嬉しかったのを覚えています。

先生に会う度に何回も何回もそう励まして頂いた私はそのまま5年生まで進級することができました。あの時の自分を肯定してくれ、勇気を下さった先生への感謝は忘れません。

今年からは登院実習が始まりました。病院で楽しそうに働く先輩の姿を見ると、失敗ばかりの大学時代も立派な歯科医師になれたら無駄じゃなかったと思えるだろうと感じています。これまでの逆境を自分のバネの強さに変えて、残り少ない学生生活を過ごせたらと思います。

NEW Sophia コラム



深山霧島

日本で最初の新婚旅行は、1866年に坂本龍馬が妻のお龍を伴って霧島を訪れたものとされる。当地の高千穂峰で天の逆針を引き抜いたという豪壮な逸話もある龍馬は意外と筆まめで、姉の乙女に宛てた手紙の中で「きり島つつじが一面にはえて」と当時の様子を書いている。

植物学者の牧野富太郎も1909年に霧島に新婚旅行に行き、学名の付いていなかった現地のツツジに「深い山に咲くツツジ」という意味で1914年に「ミヤマキリシマ」と命名したのがツツジ科ツツジ属のミヤマキリシマ(深山霧島、*Rhododendron kiusianum* Makino)である。

霧島の他にも阿蘇、久住、雲仙などの九州各地の高山に分布する。5月から6月にかけて一斉に開花し、斜面をいっぱい埋め尽くすように咲いた様子は息をのむばかり。これを見るためだけに山に登るといった人もいられる。

当時東京に住んだ牧野富太郎が霧島を新婚旅行先に選んだのは、1909年に開業した鹿児島本線による鉄道での新婚旅行を楽しむためだったかもしれない。新婚旅行が久大本線の開業した1915年以降ならミヤマクジウ、1928年だったら豊肥本線に乗ってミヤマアソとなっていたかもしれないと思うこともある。

編集後記

山笠が終わり、福岡にも本格的な夏がやってきました。新本館も完成し、新しい学園生活が始まります。中庭に面した「語らいテラス」には木目調ベンチや植物があり、学生、教職員等との交流が生まれそうです。New Sophia127号にも国際交流、地域交流など明るい話題がたくさんです。是非、ご覧ください。

(米田 雅裕)



福岡医療短期大学

歯科衛生士

研修支援センター

短大

VOICES

#32



歯科衛生士研修支援センター長

馬場 篤子

回、離職した歯科衛生士の復職支援や新人歯科衛生士のフォローアップ、現役歯科衛生士のスキルアップセミナーを無料で開催しています。最新の設備と経験豊富な講師陣による指導で、参加者は常に最前線の知識を身につけることができます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。以下のQRコードよりお申し込みください。



お知らせ
INFORMATION

入学者選抜日程

福岡歯科大学

区分	総合型 選抜1期	学校推薦型 選抜 (指定校推薦・ 公募推薦・離島推薦)	大学入学 共通テスト 利用選抜1期		大学入学 共通テスト 利用選抜2期		総合型 選抜2期	大学入学 共通テスト 利用選抜3期	一般選抜 C日程
			一般選抜 A日程	一般選抜 B日程	一般選抜 A日程	一般選抜 B日程			
募集人員	約8名	約10名	約45名	約5名	約15名	約5名	約3名	約3名	約2名
出願受付 期間	11.4(火)～11.10(月)		R8.1.5(月)～1.26(月)		R8.2.9(月)～3.2(月)		R8.3.2(月)～3.16(月)		
試験日	11.15(土)		R8.2.3(火)		R8.3.5(木)		R8.3.20(金・祝)		
合格発表日	12.1(月)		R8.2.4(水)		R8.3.6(金)		R8.3.23(月)		
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL https://d.fdcnet.ac.jp/ ●E-mail nyushi@fdcnet.ac.jp								

福岡看護大学

区分	学校推薦型 選抜 (指定校推薦・公募推薦・ 離島推薦)	社会人選抜	大学入学 共通テスト 利用選抜I期		一般選抜 後期日程	大学入学 共通テスト 利用選抜II期
			一般選抜 前期日程 沖縄試験場設置	一般選抜 前期日程		
募集人員	約50名	若干名	約40名	約5名	約5名	若干名
出願受付 期間	11.4(火)～11.12(水)		R8.1.5(月)～30(金)		R8.2.5(木)～25(水)	
試験日	11.15(土)		R8.2.7(土)	大学独自の試験は 課さない	R8.3.4(水)	大学独自の試験は 課さない
合格発表日	12.1(月)		R8.2.16(月)		R8.3.17(火)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡看護大学事務課 TEL.092-801-0486(直通) FAX.092-801-0412 ●ホームページURL https://n.fdcnet.ac.jp/ ●E-mail knyushi@fdcnet.ac.jp					

福岡看護大学大学院

区分	一般入試・ 社会人入試 (前期)	一般入試・ 社会人入試 (後期)
募集人員	約5名	
出願受付 期間	11.10(月) ～11.18(火)	R8.1.5(月) ～1.13(火)
試験日	11.25(火)	R8.1.20(火)
合格発表日	12.1(月)	R8.1.26(月)

福岡医療短期大学 【歯科衛生学科】

区分	総合型選抜・社会人総合型選抜						
	I期	II期	III期	IV期	V期	VI期	VII期
募集人員	I～VII期 約37名(社会人 各期若干名)						
出願受付期間	9.1(月) ～9.11(木)	9.12(金) ～9.25(木)	9.29(月) ～10.9(木)	12.8(月) ～12.18(木)	12.22(月) ～R8.1.8(木)	R8.1.30(金) ～R8.2.10(火)	R8.2.16(月) ～R8.3.11(水)
試験日	9.13(土)	9.27(土)	10.11(土)	12.20(土)	R8.1.10(土)	R8.2.13(金)	R8.3.13(金)
合格発表日	11.4(火)	11.4(火)	11.4(火)	12.25(木)	R8.1.15(木)	R8.2.19(木)	R8.3.19(木)

【専攻科】

区分	学校推薦型選抜			一般選抜		口腔保健衛生学専攻	
	指定校推薦	公募推薦	離島推薦	A日程	B日程	一次募集	二次募集
募集人員	25名	3名	2名	10名	3名	約15名	約5名
出願受付期間	11.4(火)～11.13(木)			R8.1.9(金) ～R8.1.30(金)	R8.2.16(月) ～R8.3.11(水)	9.29(月) ～10.9(木)	12.8(月) ～12.18(木)
試験日	11.15(土)			R8.2.3(火)	R8.3.13(金)	10.11(土)	12.20(土)
合格発表日	12.1(月)			R8.2.9(月)	R8.3.19(木)	10.17(金)	12.25(木)

問合せ先 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係
TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473
●ホームページURL <https://hs.fdcnet.ac.jp/> ●E-mail gakumuj@fdcnet.ac.jp

【注】総合型選抜・社会人総合型選抜については、希望により上記以外の日程で実施することがあります。また、募集人員充足状況により募集を終了する場合があります。詳細は入試係までお問い合わせください。